

書籍「初歩からわかる%Z法の入門」初版 第1冊 の 正誤表

題記の書籍の中に 下表に示す誤記がありましたので 読者の方々にお詫びをし、下表のとおり訂正いたします。なお、下表の「訂正箇所の欄」の中で **赤色文字** で表した事項は、既に公表した正誤表を基にして 本日新たに追加した分を示します。

著者 ; 柴 崎 誠

訂 正 箇 所	誤 っ て い る 部 分	正 しい 表 記
P67 の下から 8 行目	基準容量値（この場合は <u>10 MW</u> ）の	基準容量値（この場合は <u>100 MW</u> ）の
P67 の (6)式	$P_R = 10 \text{ MW} \times 2.28 \text{ p.u.} = 22.8 \text{ MW}$	$P_R = 100 \text{ MW} \times 2.28 \text{ p.u.} = 228 \text{ MW}$
P74 の【 問題 2 】の 図 1 の中の CB6 の下	$\% Z_{L2} = 5 \% + j2.5 \%$	$\% Z_{L2} = 5 \% + j7 \%$
P82 の【 問題 5 】の 設問 (1) の文章	(1) <u>変圧器</u> の <u>漏れ</u> リアクタンス値を、・・・	(1) <u>送電線</u> の <u>作用</u> リアクタンス値を、・・・
P82【問題1の解き方と 解答】 の下から 2 行目	・・・送電線の誘導性____リアクタンス X_L [p.u.]	・・・送電線の誘導性の <u>作用</u> リアクタンス X_L [p.u.]
P85 の (3)式	$I_{ss} = 10[\text{A}] \times \frac{j(-6)}{j(1.0-6)} = 10[\text{A}] \times \frac{-6}{4} = -15.0 \text{ A}$	$I_{ss} = 10[\text{A}] \times \frac{j(-6)}{j(1.0-6)} = 10[\text{A}] \times \frac{-6}{-5} = 12.0 \text{ A}$
P85 の下から 2 行目	・・・系統側へ 拡大 して <u>-15 A</u> が分流し、SrR なしの SC へ <u>+5 A</u> が分流する。」と言えます。つまり、 <u>高压系</u> 系統側の電流位相と SC の電流位相は、_____、互いに 逆位相 で流れます。	・・・系統側へ 拡大 して <u>12 A</u> が分流し、SrR なしの SC から <u>2 A</u> を供給する。」と言えます。つまり、SC の電流位相は、 <u>その SrR の使用・不使用により逆位相</u> に変化します。
	(以下余白)	(以下余白)

以上